

## 山梨県におけるデータ連携基盤 共同利用に関するビジョン

山梨県においては、県においてのみデータ連携基盤（以下「基盤」という。）を構築済みであることから、今後、県内市町村において基盤の利用用途が生じた場合には、既存の基盤を共同利用することを基本として、県が主導で関係市町村との調整を行う。

なお、既存の基盤が対象としている用途以外で基盤構築の必要性が生じた場合には、既存の基盤の機能拡充について検討を行う一方、次の事項を勘案して新規構築が適当であると判断される場合には、基盤の仕様検討に協力するなど所要の対応を行うとともに、基盤間で適切な連携が行われるようAPIの見直しや必要な改修等を実施する。

### 1 データ連携基盤の現況

県においてのみ基盤を運用

基盤の名称 やまなしデータプラットフォーム（基盤の概要は別添のとおり）

掲載データ 行政保有のオープンデータが主（特定の分野に限定することなく、API連携により外部のシステムやサイト等において任意の用途で利用することが可能）

### 2 考慮事項

本県においては、現在のところ基盤が1つであるため基盤間の連携や統合についての課題はなく、オープンデータであれば分野を問わず取扱可能であり、各団体が自由に利用できる仕組みである。利用に当たっては、掲載データの種類・鮮度等が統一されていないとデータの利用価値が十分に確保されないことに留意して取り組む必要がある。

### 3 今後の対応スケジュール想定

令和7年度 ・県基盤におけるデータの基礎的整備及び必要に応じた基盤改修  
・各市町村で共通して登録するデータの選定・追加

令和8年度以降 ・県基盤におけるデータの充実及び利活用の促進  
・必要に応じた基盤改修、関係市町村との調整、他基盤連携検討等

## (別添) やまなしデータプラットフォームの概要



- 行政のオープンデータを主として、人口・世帯をはじめ、各分野の統計データ（産業・観光・農林・福祉・教育）、感染症発生動向、イベント情報、公共施設一覧、公衆無線 LAN 情報などを掲載
- 掲載データを自由に検索して取得できる「カタログサイト」機能、データを簡易に可視化する「ダッシュボード」機能を提供。また、API 機能を備えており、外部のシステムやサイト等とデータ連携を行うことが可能

